

聖マリア病院を過去に受診された皆様へ

聖マリア病院では、皆様の診療情報を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容は、社会医療法人雪の聖母会 研究倫理審査委員会において承認されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、ご自身の診療情報等を研究目的に利用することに対し拒否されたい場合、研究について詳細をお知りになりたい場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

①研究課題	橈骨遠位端骨折術後の手指拘縮と浮腫・腫脹の関連について
②実施予定期間	承認後～2021年12月31日
③対象者	橈骨遠位端骨折と診断され、手術を施行された方のうち、術前から外来リハビリまで当院で受けられた方
④対象期間	2017年2月～2018年7月
⑤研究機関の名称	社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院
⑥対象診療科	整形外科
⑦研究責任者	高島 広樹 (リハビリテーション室所属)
⑧使用する資料等	診療録より下記のデータを調査します。 基本情報：年齢、認知症の有無、性別、骨折型 (AO分類)、合併骨折の有無、合併症の有無 (心不全、糖尿病)、Alb 値 手術に関して：手術時間 (駆血時間含む)、受傷から手術までの期間、内視鏡の有無 リハビリに関して：手術後の外固定期間、手指周径、手関節・前腕関節可動域、指尖手掌間距離、リハビリ実施期間
⑨研究の概要	今回の研究は、橈骨遠位端骨折術後に起こる合併症の一つである、手指拘縮が術後の浮腫 (腫れ) に関連しているか、またその浮腫の原因はなにか、さらに拘縮や浮腫が及ぼす影響 (特に関節可動域) などを調査し、今後の浮腫に対する対策の参考とすることを目的としています。
⑩倫理審査	研究倫理審査委員会承認日 2019年 2月 12日
⑪研究計画書等の閲覧	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で入手または閲覧出来ます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先までご連絡ください。
⑫結果の公表	学会や論文などで発表します。
⑬個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて (このことを「匿名化」と言います) 管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。
⑭知的財産権	社会医療法人 雪の聖母会 聖マリア病院に属します
⑮研究の資金源	なし
⑯利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません
⑰問い合わせ先・相談窓口	聖マリア病院 リハビリテーション室 高島広樹 TEL：0942-35-3322